

# 電 害

## 5月

### 水 稲

夜間の冷え込みが予想されるので、育苗については被覆資材を用いて保温に努める。本田では深水で管理する。

### 麦

雹による湿害を防ぐため、排水に努める。

### 茶

- 1 被害葉は正常なものと分別して摘採・加工する。
- 2 被害を受けた園では、ハダニ類の被害が多くなるので、薬剤散布を行う。

### 野 菜

#### 1 露地野菜

露地野菜は茎葉の傷口から病害が発生しやすいので早期に殺菌剤を用いて防除する。草勢回復のために、葉面散布剤を散布する。

#### 2 雨よけ栽培をしている野菜

- 1) ビニールの損傷により、内部の野菜に被害があった場合は、茎葉の傷口から病害が発生しやすいので早期に殺菌剤を用いて防除する。草勢回復のために、葉面散布剤を散布する。
- 2) ビニールの損傷箇所を早急に修理する。

### 果 樹・オリーブ

#### 1 栽培管理対応

- 1) ビワは傷ついた果実を摘果するとともに、果袋の破損が大きい場合は再被覆する。
- 2) ハウスの被害については、雨による品質低下を考慮して早急にビニールの破損箇所を修理し、雨よけ対策を構じる。

#### 2 病害防除対応

- 1) 枝葉の損傷部からの病害感染防止のため、薬剤散布を行うとともに常緑果樹は樹勢低下防止のため、液肥の葉面散布を行う。
- 2) 枝梢の折損等が生じた場合は、折損部をせん除し、切り口に癒合剤を塗布する。

### 花 き

- 1 降雹が予想される場合には、被覆資材等による防雹対策を講じておく。
- 2 茎葉が損傷した場合は、傷口から病原菌の侵入を防ぐため、殺菌剤の散布を行う。
- 3 草勢の低下が予想される場合は、液肥の葉面散布を行い、速やかな樹勢回復を図る。
- 4 被害の程度や生育段階によっては、植え直しや播き直しを行う。
- 5 施設栽培でビニールが破損した場合は早急に修繕する。

### 飼料作物

#### 1 栽培管理対応

雹の降る5～7月は春夏作物の伸長期にあたり茎葉が弱いので被害を受けやすい。

- 1) ソルガムは分けつが旺盛なので、茎葉が一部折損しても窒素肥料を2～3 kg/10a 施用することで再生促進ができる。トウモロコシも同様な追肥で生育を回復できる。
- 2) 茎が完全に折損して回復の見込がない場合でも、刈り取りできるものについては利用する。ただし、青刈りソルガムでは硝酸塩中毒の恐れがあるので、草丈60cm以上のものを利用する。
- 3) 刈り取りができない場合は、再播種を行う。